

かかりつけ病院として診療内容を充実しました

わらび北町病院

病院便り

2013年
6月号

ファミリー
健康情報

梅雨時は食中毒が発生しやすくなります

ご家族を「食中毒」から守りましょう

平成24年埼玉県の食中毒患者数588名（ノロウイルス含む）

ご家族や小さなお子さん、高齢者を守るために、梅雨時における食中毒の特徴と予防法をご紹介します。

詳細 ▶ 裏面のファミリー健康情報を参照ください



■診療内容（各種医療保険取り扱います）

内科

循環器科

（心臓エコー検査）

【月・火・水・土曜日（午前）】

小児科

【第2、4水曜日 終日】

消化器科

内視鏡内科

（胃カメラ、大腸カメラ）

大腸・肛門内科

胃腸科

ペインクリニック内科

【月・火・水・土】

皮膚科

【第2、4水曜日 終日】

往診・訪問診療・訪問看護

（電話または来院のうえご相談下さい）

健康診断・予防接種

を承ります（要予約）

アレルギー科

■診療日・診療時間

診察日：月～土曜日 【午前】 9:00～12:30 / 【午後】 13:30～17:30
【受付時間】 午前 8:30～12:15 / 午後 13:30～17:15

休診日：日曜・祝日

医療法人社団敬寿会 わらび北町病院

住 所：〒335-0001 埼玉県蕨市北町 1-24-5

T E L：048-431-6917

F A X：048-431-6935

発行人：筒井 雅人

詳細はホームページをご覧ください。

<http://warabikita-hosp.com/>



携帯サイトおよび電話番号は
左のQRコードをご利用下さい。

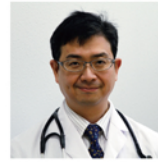
ごあいさつ



院長 筒井 雅人
ついで まさと

昨年4月よりわらび北町病院の院長に赴任して1年が経ちました。この間、不慣れだった私に対して地域の皆さんから時にやさしく、時に厳しくたくさんの叱咤激励のお声をいただきました。これらの貴重なご意見をありがたく頂戴し益々精進したいと思います。

またこの4月に乾先生というすばらしい先生を当院に迎えることができました。これから二人三脚で地域医療に貢献して行こうと思います。至らぬ点も多々あるかと思いますが、暖かい目で見守っていただけると幸いです。



医師 乾 多久夫
いぬい たくお

4月から常勤医師として勤務しております乾(いぬい)です。筒井院長と同じ高知県出身で、平成5年に防衛医大を卒業し、20年間防衛省航空自衛隊医官(兼防衛医大講師)として勤務しておりました。専攻は消化器一般外科ですが、当院では総合診療科医師として、蔵市をはじめ地域の皆様から信頼いただける医師を目指し、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

小児科、皮膚科の診療は第2、4水曜日となっております。

ファミリー
健康情報

梅雨時は食中毒が発生しやすくなります

ご家族を「食中毒」から守りましょう

● 食中毒

食中毒を引き起こす細菌が感染した肉、魚、野菜などの食品を摂取することにより起こります。

主な原因菌としては、カンピロバクター・サルモネラ・腸炎ビブリオ・病原性大腸菌、黄色ブドウ球菌・ボツリヌス菌などがあります。

ご家族は同じ食品を食べることが多いので同時に発症することがあります。



● ご家庭で食中毒を防ぐ3原則

毎日の清潔習慣で、食中毒の予防をしましょう。

菌をつけない

きれいに手を洗い、食品に細菌を付けない。



増やさない

低温で食材管理



やっつける

食材の十分な加熱処理



● 食中毒の症状

細菌性食中毒やウイルス性食中毒の主症状は、下痢、嘔吐、腹痛、発熱の4症状です。食中毒の原因物質によって下痢や嘔吐などの症状に差があります。

病因物質一覧(症状・対策)(埼玉県食品安全課)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/byouinbussitu.html>

● 食中毒症状が改善されない場合

食中毒症状が改善されない場合や症状が激しい場合には、医師にご相談ください。次の症状は、特にご注意下さい。

1 一日に10回以上、嘔吐・下痢症状がある場合。

3 便に血液が混じっている場合。

2 激しい下痢などの症状がある場合。

4 呼吸が不安定もしくは意識が朦朧^{もうろう}としている場合。

わらび北町病院 電話 048-431-6917